



全国畜産縦断いきいきネットワーク

いきいき通信

第26号

2017年10月31日









初霜の候、会員のみなさんお元気ですか。

毎年恒例の大会も終わり、いよいよ秋の季節となりましたね。今年の夏は集中豪雨が各地で発生しました。被害に遭われた方々に、お見舞い申し上げます。

さて、今回は平成29年度いきいきネットワーク全国大会、農林水産省との意見交換会の様子等をご紹介します。

～目次～

 平成29年度大会の様子	1
 平成29年度行政ご担当者との 意見交換会 in 霞が関の様子・意見一覧	5
 平成29年度大会アンケート結果	14
 畜産映像情報 がんばる！畜産！	16
 協賛会員のみなさま（平成29年度）	17
 編集後記	29

全国畜産縦断いきいきネットワーク

<http://jlia.lin.gr.jp/joseinet/>

全国畜産縦断いきいきネットワーク 平成29年度大会

全国畜産縦断いきいきネットワーク大会が平成29年8月22日、中野サンプラザ（東京都中野区）にて開催されました。

今年度は「聞かせてよ！若いみんなの声 ～親世代と子世代（後継者）の対話～」のテーマのもと、昨年よりも多い約130名の方々にご出席いただきました。

会長の小林陽子さん（三重県・養豚経営）（代読：金谷恭子さん（埼玉県・肉用牛経営））が開会のご挨拶をされ、「高齢化の進展や後継者の確保といった担い手不足にどう向き合っていくかが課題であり、次代の畜産を支え盛り立てていく後継者が安心して経営を引き継げる環境をつくり、畜産をやりたいと思ってもらえるようにしていくことが大切。今回のテーマは子世代の想いと親世代の想いを語り合える良い機会になる、その想いをいきいきネットワークから全国に伝えていきたい。」と述べられました。

続いて来賓挨拶では、農林水産省生産局畜産部の大野高志部長（代読：生産局畜産部畜産企画課 坂康之課長）から、「畜産経営と家庭を両立しながら、畜産に携わる女性による積極的な取り組みに対し、深く敬意を表するとともに、女性ならではの視点や新たな感性を発揮していただき、我が国の畜産の更なる発展にご尽力いただきたい。」、公益社団法人中央畜産会姫田尚副会長から「皆さんが家に帰ったとき、後継者に畜産は楽しいと伝え、今後経営をどう進めていくか対話を図ることが一番の後継者対策だと思う。皆さんを応援する機関は周りにはたくさんある。後継者との間で新たな取り組みを進めていただければ、未来は開けてくる。」とご祝辞を頂戴いたしました。

恒例の「カラスの寸劇 ～カラスのカンタ 未来を考える～」では、子ガラスのカンタが大人になり、世代交代をテーマとした劇が行われ、会場が大いに盛り上がりました。

子世代の主張では、映像にて4名の後継者の方々にご出演いただき、映像による作業の様子や今後の経営について語っていただきました。（養豚経営：島田農園・島田福德さん、養鶏経営：(有)菅藤養鶏場・菅藤裕美さん、酪農経営：(有)広野牧場・廣野豊さん、肉用牛経営：那須牧場・那須啄弥さん）

親世代と子世代による対話と題したパネルディスカッションでは、コーディ

ネーターにフリーアナウンサーの小谷あゆみさんを迎え、パネラー4名（養豚経営：(有)横山養豚・横山正至さん、肉用牛経営：竹内牧場・竹内一晃さん、養鶏経営：(有)菅藤養鶏場・菅藤裕美さん、酪農経営：(有)広野牧場・廣野豊さん）に就農のきっかけや経営内容、そして、後継者として思うことや課題、今後について発言していただきました。また、会場からは親の視点でのストレートな質問もありました。

全員1分間スピーチでは、発表者の方はステージに登壇していただき、ご自身の想いや後継者に対してなど1分間語っていただきました。

最後に、会員の嶋田文代さん（埼玉県・養鶏経営）による平成29年度大会宣言の発表、そして採択されました。宣言文は以下のとおりです。

1. 次世代につながる魅力ある畜産経営の実現のために、全国で活動する畜産に携わる女性が、全国畜産縦断いきいきネットワークに集い、活動の輪に加わるよう呼びかけます。
2. EPAをはじめとした諸外国との畜産に関連する交渉にあたっては、我が国の畜産経営基盤の安定を旨とし、国政はもとより、畜産関係各機関が一体となって必要な対策を拡充するよう要請します。
3. 口蹄疫や鳥インフルエンザをはじめとした悪性伝染病の侵入防止に全力を注ぐとともに、安全・安心な畜産物の生産供給に努め、国産畜産物に対する信頼の維持に努めます。
4. 引きつづき畜産関連の生産情報を発信し、消費者との交流を深め、国産畜産物の消費拡大を呼びかけます。



会長挨拶を代読された副会長の金谷恭子さん



会長挨拶の様子



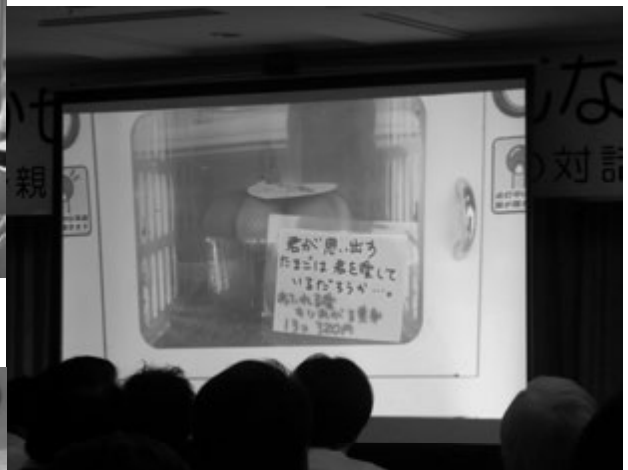
生産局畜産部畜産企画課
坂 康之 課長



公益社団法人中央畜産会
姫田 尚 副会長



カラスの寸劇



子世代の主張（ビデオ出演）



パネルディスカッション



パネルディスカッションの様子
(右から小谷あゆみさん、横山正至さん、竹内一晃さん、菅藤裕美さん、廣野豊さん)



大会に参加されたみなさん

行政ご担当者との意見交換会 in 霞が関

全国畜産縦断いきいきネットワーク大会の翌日に、農林水産省の職員の皆さんと畜産を取り巻く課題について意見交換会を開催しました。

以下は、その意見交換会の要旨です。

参加された皆さんの意見をストレートに取りまとめることを第一に考え修文等はあまり行っておりません。また、紙面の関係でご意見の中で掲載をしていない部分もあります。お許してください。

開催日時：平成29年8月23日（水）10：00～12：00

開催場所：農林水産省 生産局第1会議室

テーマ：①畜産における後継者の確保に対する国の支援について

②経済連携協定(EPA)等海外との交渉における畜産の位置付け

③その他

①畜産における後継者の確保に対する国の支援について

(酪農)

息子が親元就農した際、うちは3戸法人なのだが、県の基準より1戸1法人でなければならないとのことで行政からの補助金がもらえなかった。このことを竹田市に相談したところ、年間60万円を3年間もらうことができた。いまどき、1戸1法人ではないというのはナンセンスではないだろうか。

現在、奨学金を利用して息子が大学に通っており、将来、休日の取得などができる就農をさせてあげたい。また、労働力の雇用についても考えている。

農家の後継者への奨学金返済免除や、非農家出身であっても就農する意思のある学生には奨学金返済を免除するといった、就農がしやすいシステムを作ってほしい。

(酪農)

クラスター事業に参加しているが、餌代と機械代に追われている。そのため、輸入牧草やとうもろこしといった餌代を安くすることはできないか。

WCSは使いにくい。

(酪農)

WCSを給餌しすぎると繁殖成績が悪くなる。

自分の地域はWCSの生産には適しておらずその土地もない、また、飼料購入型の経営であるため、WCS生産をするための機械に投資するだけの意味がない。

農協に何かしてもらったことがあまりない。何かあると「行政」を理由に断られてしまう。

(酪農)

何か資金が必要なときは、銀行とやり取りをするのがよい。農協にお金を借りて何かをする人は少ない。

(肉用牛)

農協で、「なかなか許可が下りない」といわれることが多い。

場合ごとの対応方法を、農林水産省のほうから農協側に提示してもらえると嬉しい。今後の担い手である若い人も手続き等を難しいと感じており、どうにか簡略化することはできないだろうか。

(採卵鶏)

私の地域の農協は、米に対して手厚いが、酪農にはそうではない。そのような場合は、「普及所」を使うとよい。そのほうが早く解決する。

(酪農)

今日の参加者に北海道の人がいない。北海道は搾乳ロボットの導入など、クラスター事業が進んでいる。大分県では規模拡大が難しい。

ロボットの新規導入だけではなく、ロボットの交換や更新の際にもクラスター事業を利用できるようにならないか。

初妊牛の価格が高い。乳量を増やすのも大変であり、初妊牛購入のための何か対策をしてほしい。

新規就農者だけではなく、後継者に対しても補助金等がほしい。

F1の値段が下がると生活が成り立たなくなくなる。

(農林水産省)

複数戸での法人化について、労働環境という点から考えてもよい経営を北海道などで見かける。専門性のある仕事をそれぞれがしており、労働時間も長くない。

使うことのできる対策で補助金をうまく活用してほしい。

奨学金については、誰が負担するのかという議論があり、それは関係するみんなが考えることで議論が進む。大学進学を経たからの就農はきちんとプラスになっているのかということ、大学側も意識する必要がある。

飼料米について努力している。農地を確保しつつ、現代に合った使い方をしていく必要がある。

地域によっては飼料米を活用できているところもある。飼料米を活用しても上手く餌代が安くなっていない地域は、農協で調整してほしい。

(農林水産省)

「農業競争力強化法」ができ、飼料会社の再編等を後押しすることで上手く回っていく仕組みを作る。

(農林水産省)

経営費に占める、施設費は6%、餌代は46%というデータがある。北海道においては、飼料生産基盤があるため規模拡大しやすいのではないかと。大分県では同様な規模拡大は難しいだろう。規模拡大を行うことだけがゴールではない。働きやすい環境を整えることも大切。新しいものを入れればよいわけではない。

なく、しっかりマネジメントを行う。牛の改良で収入を増やすことのほうが現実的である。

自動給餌機にかかった経費の分、乳量も上がっているのではないか。

（農林水産省）

一般的には農協への相談が難しい場合は、県や農政局に相談することも可能である。中長期的な解決策としては、要望を伝えることで農協職員にも認識を持ってもらうことが必要。当方では、畜産クラスター事業を活用した人材育成も行っている。

なお、畜産クラスター事業は体質強化のための事業であり、設備更新や維持のための補助金ではない。今後のご自身の経営の経営といろいろな補助事業の政策意図を比べてあったものを検討することが大切。

（農林水産省）

配布資料「畜産・酪農をめぐる情勢」の P55にあるように、後継者にも支援を行っている。規模拡大を要件としていないものもあり、後継者への初妊牛導入補助等があるので、ぜひ活用してもらいたい。

クラスター事業の利用を考えるのなら、設備の更新ではなく、同じサイズの機械でも、最近のものは性能がアップしているので、作業性の向上等により収益向上を図るというストーリーを検討してみるのはいかがでしょうか。

②経済連携協定（EPA）等外国との交渉における畜産の位置づけ

（養豚）

TPPに対する不安が続いたが、アメリカが撤退したことで少しほっとした。しかし、現在はEPAに対しての不安が続いている。外国の勢いに国内の肉の価格が押されてしまうのではないか。

「国産の肉を食べてほしい」という思いでJPPA（日本養豚協会）に加入した。長野県内ではできているのだから、全国でもみんなが一枚岩で生産者を守る方法はないのだろうか。

（酪農）

観光牧場としてアイス、ミルクジャム等の6次産業化を行っているのだが、乳等省令の関係から、旅館等にミルクジャムを卸すことはできないと行政から言われた。乳等省令ができたのは昔のことであり、どうにか改良することはできないか。

地区によって行政や担当者によって厳しさも異なる。自分たちの商品には安

心安全の自信があり、販売できない現状を変えたい。

(肉用牛)

HACCPやハラール認証に取り組む、JGAPをクリアしていればオリンピックで食材を提供することができるが、後継者の確保も未定の小規模な経営ではその投資が難しい。何か小規模な農家も支援するものはないのか。

(肉用牛)

和牛を海外でより一層充実させるためには、現在のような一部パーツだけでなく一頭丸ごと使って頂くことにある。そのためにはそれぞれのパーツに応じた調理法を現地のシェフ等に伝えていく責務は必須であると考えている。現地のシェフを日本に呼び、国として技術指導を行う計画や助成事業を取り込む予定はあるのか。

(養豚)

豚マルキンの掛け率や、対策の方向について知りたい。

(農林水産省)

チェックオフについて、現在、JPPA は義務的なものを目指しているが、チェックオフに反対する方々にも強制することになるので、しっかりと議論をしていくことが必要である。農業競争力強化プログラムにもこうした議論を重ね、生産者の75%の同意を得られた場合に法制化に着手すると定められたところ。現在、生産者団体を中心として「養豚チェックオフ協議会」が立ち上げられ、検討が行われている。農林水産省としても、この議論が円滑に行われるよう情報提供等により支援していきたい。なお、既に義務的なチェックオフを開始している海外では、任意の形でチェックオフを始め、後々義務的なものに発展させていくというのが一般的。日本でも任意の形で始めるということもひとつのやり方ではないか。

それぞれの生産者、団体に独自の考え方がある中で、特定の団体への加入を行政が主導するのは難しい。JPPA が自らの魅力を向上させていくことが重要。

(農林水産省)

牛乳に関する衛生条件は厳しいが、アイスの販売の許可は下りやすい。何度も保健所に意見を仰ぐのがよいのではないか。実際に会って許可が出るまで何度も話す。

(農林水産省)

キャトルステーション等、共同で利用できる施設設備などを、支援していく。コントラクター等の導入による分業化や機械導入の補助に畜産クラスター事業を利用していただきたい。

JGAPを部会等の集団組織で取得するという方法もある。ソフト面の記録、飼料の内容、人材教育といった部分に力を入れていくことも必要である。

(農林水産省)

農場HACCPは最初の実証等から数えれば10年以上が経ち、十分に現場レベルにも周知がされている一方で、JGAPについては、今年になって基準書ができたばかりという段階であり、今、まさに都道府県等への説明に努力しているところ。このため、各地域で相談しても、現時点で話がなかなか通じないこともあるかもしれないが、その場合でも、自分がJGAPに興味があるということはアピールしておいて欲しい。また、特に農場HACCPは誤解が多いが、JGAPとともに、生産農場ではハードの改修が必須ではない。ソフト面だけでも対応できることがほとんどであるので、ご承知おきいただきたい。

(農林水産省)

貿易統計から見ても牛肉輸出はロインが約7割を占めており、その他の部位を売り出すことが今後の輸出拡大に必要であると考えている。事業者の話では、現地で和牛のローストビーフを作ったところとても高い評価を受けており、和牛はロイン以外の部位でも十分に海外で通用できると認識している。この状況を踏まえ、28年度も海外の事業者の招へいやカット技術者の海外への派遣を通じて、多様な部位の需要拡大を図る取組を行っているところ。

(農林水産省)

配布資料の「総合的なTPP関連政策大綱」にあるように、「経営安定対策については、日EU・EPAの大枠合意の内容TPPの状況等を踏まえ必要な検討を加える」とあるように、今後検討されていく。結論が出しだい報告していく。

③その他

(肉用牛)

放射線のせいで、一部の雑草を食べさせることができない。受胎率が向上するため、繁殖牛に食べさせたいのだが、条件付で給餌する許可を農林水産省から文章で出してもらえないか。

(肉用牛)

口蹄疫発生の際に、家畜との接し方を知らない獣医が多かった。それに対して、研修や訓練は行っているのか。宮崎県庁の獣医師の数を知りたい。

(肉用牛)

高校1年生になる孫が、獣医系大学への進学を考えているが金銭的な問題が気になる。「獣医学生向けの就学資金募集一覧」には福島県の記載がないが、他に何かないか。

(採卵鶏)

私は獣医師で、息子は国立の獣医大学に通っている。私立の獣医学大学の学費に対して月に10万円の補助では、少なすぎる。このような額では、産業獣医師確保対策になっていないのではないかと。産業獣医師を育てる大学が必要ではないか。国として授業料を支援するくらいでなければ、効果が薄いのでは。

(農林水産省)

宮崎県庁には216人の公務員獣医師がいる。小動物獣医師等が、卒業後、定期的に産業動物を扱う訓練をする仕組みは今のところない。家畜の疾病に対して十分対応できるように、産業動物獣医師の確保が重要。産業動物獣医師の確保のために、獣医学生と高校生3年生に対して修学資金の貸与を行っている。学生は、将来産業動物獣医師として働くことを条件に、私立学生は月12万円、国立は10万円の貸与を受けることができる。積極的に活用願いたい。

(農林水産省)

大規模な対応が必要な家畜の病気が発生した場合には、現場の対応で中心となるのは都道府県獣医師。そのため都道府県が中心となり、関係者と連携して防疫演習を行い訓練している。また、口蹄疫等の疾病では、初動が重要であるため、共済等の民間獣医師の応援がすぐにいただけるよう、各都道府県で獣医師会等と事前に派遣協定を結んだりもしている。都道府県だけで対応が難しい場合、国の機関である動物検疫所や家畜改良センターの獣医師なども迅速に対応できるよう準備している。

(農林水産省)

産業規模で外国と比べると日本に獣医はたくさんいる。都道府県が獣医の仕事を整理して、高度化することで給料を上げ、人員を絞ることも産業動物獣医

師確保の一つの道。

（酪農）

九州は全国でもっともプール乳価が低い。経費を安くしているわけでもなく、時間もかけている。飲用向けが少ないためではないかと考えている。どうしたら乳価が上がるのか。

消費者へのアピールはしているつもりだが、なかなか効果は見られない。関東等と同程度の乳価になれば、補助金が少なくても経営できるのではないか。

（農林水産省）

野草について、除染していないものについては、給餌の許可を農林水産省が出すのは困難である。しかし、少しずつ線量が低下しているため、個別に調べた上で、基準値以下であれば市町村が利用を許可することになっている。

（農林水産省）

九州は加工向け乳が多くなっている。人が飲む量を超えて生産しているので、加工に多く回ってしまう。6次化で特徴的な乳製品を生産していくなど需要の拡大やマーケティングも有用である。

（農林水産省）

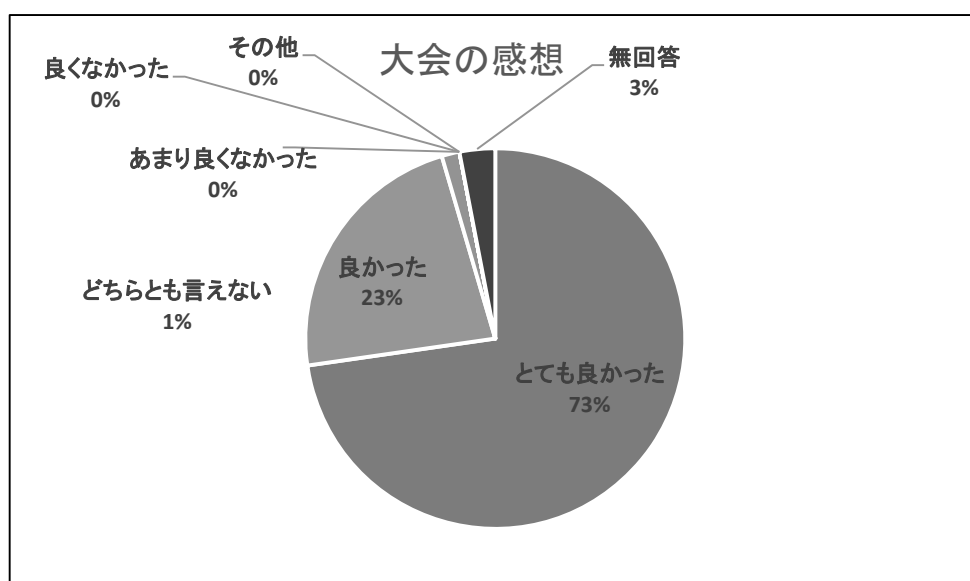
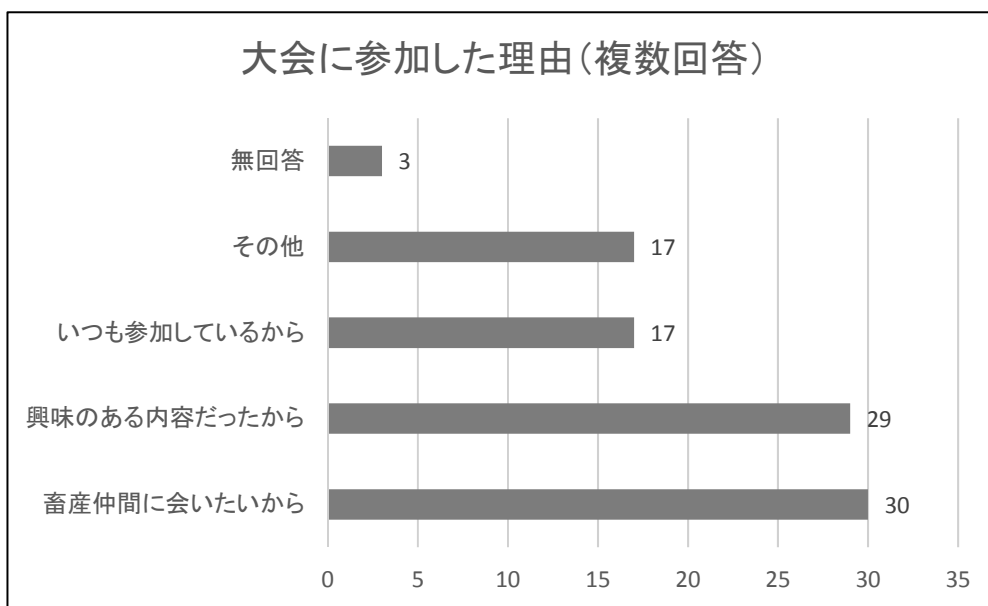
国産の牛乳乳製品を応援することや、消費者の理解醸成を進めることで、牛乳の適正な価格を発信していくことが必要。

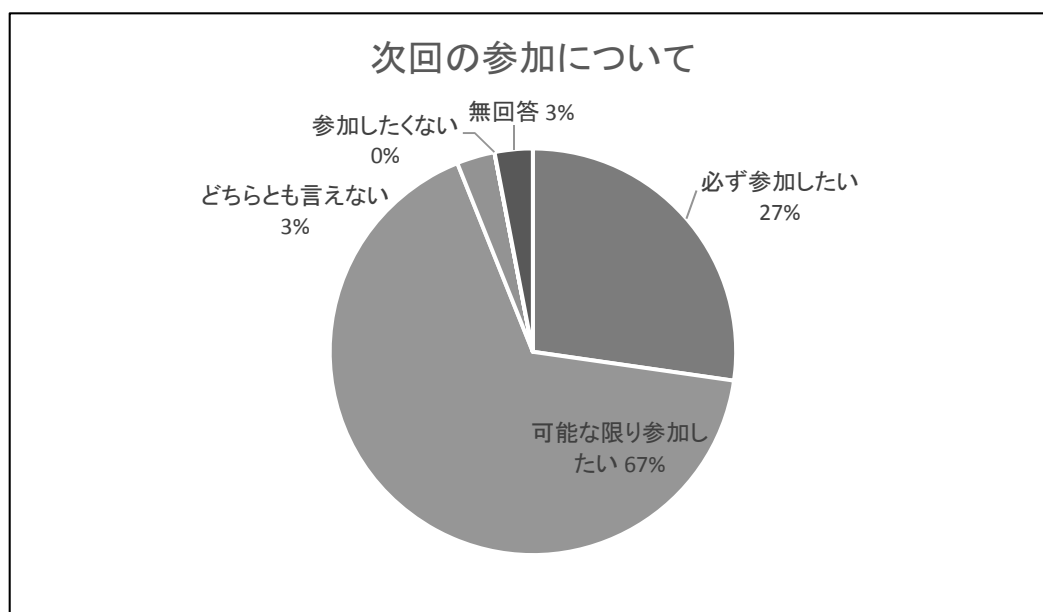
行政ご担当者との意見交換会 in 霞が関の様子



平成29年度大会アンケート結果

今後の大会を有意義なものとするため、大会当日に書面にてアンケートを実施しました。その結果をご報告いたします。(回答：66件)





大会の感想（自由記述回答）

- 毎年、率直な現場でのテーマを真剣に語り合える所は素晴らしい大会だと感じています。回答がズバリで、有意義な会だと感じています。
- 楽しかったです。来年まで待ち遠しいです。
- 生産者の方が日頃の作業の中で感じておられる問題点や改善したいと思われることを寸劇やパネルディスカッション等、様々な形でお聞きすることができ、大変勉強になりました。
- 頑張る女性の姿がたくさん見れて大変嬉しかったです。
- 若い人との意見交換。今日だけで終わるのではなく、これを家に持ち帰って経営に活かされることを願います。
- 畜産を取り巻く情勢は厳しいですが、大会に参加して元気パワーをもらって帰れます。
- なかなか農林水産省の方と話ができる事がないので、良い大会だと思います。
- 昨年も感じましたが、皆さんのパワーがすごく、圧倒されました。私はまだまだ小さい、まだまだ頑張らねば！！と刺激を受けました。皆さんのように堂々と自信を持って仕事がしたいと思いました。

今後聞いてみたい話（自由記述回答）

- 嫁・姑問題も、話す内容があれば…。
- 各県の畜産の取り組みを取り上げてもらいたい。
- パネルディスカッションがもう少し長くても良い気がします。聞き足りないというか、会場の参加者とのやりとりがもう少しあったら良い気がします。

大会の様子がインターネットにて配信されました！

公益社団法人中央畜産会では、平成29年度、日本中央競馬会の助成を受け、先進経営や生産技術等を映像で紹介する「映像を活用した畜産経営高度化技術普及事業」を実施しております。

つきましては、ホームページ「畜産映像情報 がんばる！畜産！」にて全国畜産縦断いきいきネットワークの平成29年度大会の様子が配信されましたので、ぜひご覧ください。

このサイトでは、他にも各地の優れた畜産経営や、後継者の活躍、おいしく安全な畜産物を消費者の方々に届けるまでを映像で紹介しています。併せてご覧いただき、ご自身の経営に役立てていただければ幸いです。

詳しくはこちら→ <http://jlia.lin.gr.jp/ganbaruchikusan/>

※スマートフォンでも視聴可能です！



畜産映像情報
がんばる！畜産！

協賛会員のみなさま
(平成29年度)

(順不同)

一般社団法人家畜改良事業団
公益社団法人日本食肉格付協会
合同会社イーラップ
明治飼糧株式会社
株式会社十勝家畜人工授精所
株式会社中嶋製作所
公益社団法人全国農業共済協会
富士平工業株式会社
北海道全日本畜産経営者協会
独立行政法人農畜産業振興機構
一般社団法人日本ホルスタイン登録協会
全国食肉事業協同組合連合会
全国肉牛事業協同組合
サージミヤワキ株式会社
ヨシダエルシス株式会社
株式会社岡田製作所
中国物産株式会社
一般社団法人日本養豚協会

東西産業貿易株式会社
株式会社大建情報システム
全農畜産サービス株式会社
オリオン機械株式会社
一般財団法人畜産環境整備機構
有限会社ハーレー牧場
有限会社那須高原今牧場
ひふみ養蜂園株式会社
協同組合 日本飼料工業会
一般社団法人日本草地畜産種子協会
全国畜産農業協同組合連合会
株式会社農林放送事業団
株式会社ハイテム
株式会社 LifeLab
一般社団法人日本養鶏協会
一般社団法人日本乳業技術協会
株式会社コーンズ・エージ

協賛広告




● 優良遺伝子の作出・供給 ● 能力検定と最新情報の提供 ● 改良・繁殖技術の研究開発

当団のホームページ
<http://liaj.lin.gr.jp/>


一般社団法人 家畜改良事業団

〒135-0041 東京都江東区冬木 11-17 イシマビル
 TEL 03(5621)8911(代) FAX 03(5621)8917

◆ 明るい畜産の未来を、遺伝的改良と先進技術でサポートいたします。



公益社団法人
日本食肉格付協会



〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町2-1-2 (NCO神田淡路町 2F)

◆ 公正かつ厳正な格付を実施し、食肉・畜産関係者や消費者の利益になるよう努めております。



e wrap

ロール用ネットとラッピング・フィルムの
 専門会社 イーラップ

信頼あるブランドと価格で畜産農家のコスト削減！

e wrap 合同会社 イーラップ
 代表 柴田輝男

〒018-0003 秋田県弘前市日本街西日字入西目432
 TEL 099-2998-7931
 携帯アプリス teru.s1951@ezweb.ne.jp

◆ ロール用ネットとラッピング・フィルムの専門会社・イーラップ
 会社コンセプト：信頼あるブランドと価格で畜産農家のコスト削減！



meiji 明治飼糧株式会社
 明治グループ

すべてはお客様の
 「笑顔」のために
<http://www.meijifeed.co.jp/>

◆ 酪農、畜産のベストパートナーを目指して、安心・安全な飼料をお届けします。

協賛広告



株式会社
十勝家畜人工授精所

〒089-1247 北海道帯広市昭和町西1線107番地
TEL(代表) 0155-64-4705 FAX 0155-64-4734
<http://www.taic.co.jp/>

JP4H55951 ジョージア TW-23 花国安福

◆家畜の改良を通して、日本の畜産に貢献いたします。

良い卵・良い肉を育成する給餌システムを構築する

ものづくりを通して、畜産業界に貢献したい。それは、私たちにとって技術とは心だからです。



株式会社中嶋製作所

〒388-8004 長野県長野市篠ノ井会 33
TEL. 026-292-1203 FAX. 026-293-1611

www.nakamatic.co.jp

◆お客様の経営理念にあった飼料給餌システムを提供することで、共に生きていくことを目指しています。

農業共済新聞 営農、暮らし、地域の活性化へ 

一緒に見ませんか **明日の農業**

毎週水曜日発行
月ごめ 420円 (巻送)
年ごめ 4680円

全国の農家を安心のネットワークで固く結ぶ農業専門情報紙です

発行所 **全国農業共済協会** 東京都千代田区一番町 19 TEL 03 (3263) 6413 FAX 03 (3221) 7978

◆営農とくらしに役立つ情報を毎週お届けします。

JE ポリブーツ

畜舎内に外部から菌の持ち込みを防止します。
簡単装着ですれ落ちないようにゴムバンドがついております。長靴の上からでも装着可能です。



コード番号: 28012000 仕様: ゴムバンド付 50枚/箱
製品番号: NFC636 材質: ポリエチレン

WEBSHOP・商品情報・カタログ等、詳しくは
<http://www.fujihira.co.jp/> へ

FHK
富士平工業株式会社
北海道富士平工業株式会社

◆日本の獣医療・畜産業と人とペットの豊かな生活を守るため、研究開発・製造販売に全力で取り組んでおります。

協賛広告

★商系の配合飼料を利用している畜産経営者の団体★

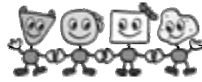
＜北海道全日本畜産経営者協会＞

北海道全日畜

〒060-0809 札幌市北区北9条西4丁目7-1 ガレリアビル6F TEL 011-747-6380 FAX 011-747-6384

◆経営改善について様々な支援活動を行います。(女性対象に相談会・勉強会を実施します♡)

alic



農畜産物の情報に関するメールマガジンの配信をしています。希望される方は、機構 HP (<https://www.alic.go.jp/form/index.html>) から、登録をお願いいたします。

独立行政法人農畜産業振興機構

〒106-8635 東京都港区麻布台 2-2-1 麻布台ビル
TEL 03-3583-8196(代表) FAX 03-3582-3397

◆安全で、品質の優れた国産農畜産物を安定的に供給するために、生産者の経営を支援しています。

改良の基礎は登録から



一般社団法人 日本ホルスタイン登録協会

〒164-0012 東京都中野区本町四丁目 38 番 13 号
電話 03(3383)2501 Fax 03 (3383) 2503
ホームページ <http://hcaj.lin.gr.jp>



◆改良の基礎は登録から ホームページ <http://hcaj.lin.gr.jp>

心をつなぐ新鮮ギフト お肉のギフト券

Gift Card for Meat

本 ¥500

全国加盟店 共通

全国食肉事業協同組合連合会 ☎03 (3582) 1241

お肉のギフト券は、全国加盟店どこでもご利用になれます。

◆ご家庭に、笑顔と安心・安全をお届けする、全国5,000店のネットワーク。

協賛広告



組合員の経営全般をサポート!

全国肉牛事業協同組合

〒105-0003 東京都港区西新橋1-22-12 JCビル2F
TEL 03-3503-8380 FAX 03-3503-8382
<http://www.jcic-f1.jp/>


◆肉用牛経営支援のため、預託、共同購買、福利厚生事業等を実施しています。お気軽にご相談下さい。



耕作放棄地を「放牧」で きれいな緑に

サージミヤワキ株式会社
東京 / 札幌 / 大阪 03-3449-3717

◆弊社は世界一の電気柵メーカー、ガラガー社の日本総代理店です。創業以来、畜産関連製品を幅広く取り扱っております。



ヨシダエリス株式会社

<http://www.yoshida-lsys.com>

本社工場 和歌山県御坊市藤田町吉田 155 (〒649-1342) 東京支店 東京都千代田区飯田橋 3-4-10 (〒102-0072)
TEL 0738-22-2111 FAX 0738-22-8885 TEL 03-3511-0033 FAX 03-3511-3400

◆おつきあいを大切に・・・ ヨシダはあなたのご満足のお手伝いをします。

家畜のふんの堆肥化プラントは 私たちにまかせください。

創意工夫を信条に、お客様と共に・・・



有機性原料の堆肥化プラント

株式会社 岡田製作所

〒374-0042 群馬県館林市近藤町 318-2

TEL:0276-74-3838 FAX:0276-74-5818
Mail:eigy@okadass.com
URL:<http://www.okadass.com>

◆お客様のご要望にトコトン耳を傾けて、最良のご提案をしていきます。

協賛広告

牛専門の獣医師と共同開発、品質の高い製品
信頼と実績のMシリーズ


牛用飼料の専用工場
中国物産株式会社

〒714-0081 岡山県笠岡市笠岡2369-31
 TEL0865-63-1110 FAX0865-63-1108
 E-mail info@chuugoku-bussan.com
 URL <http://www.chuugoku-bussan.com>



M牛用飼料
シリーズ

**日本養豚協会（JPPA）の活動は、
 日本の養豚家の皆さんを元気にします！！**

 一般社団法人 日本養豚協会（JPPA）ホームページ：<http://pig.lin.gr.jp/>
 〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-27-15 高栄ビル2F TEL：03-3370-5473 FAX：03-3370-7937

18万個以上の販売実績を持つLLシリーズに高輝度のLL27が新登場

- ◆ 250度の広角ビーム
- ◆ 640ルーメンの超高輝度
- ◆ カバーは破損レスのポリカーボネート樹脂
- ◆ 重量140gの軽量タイプ
- ◆ フリッカーフリーの回路構成



 **東西産業貿易株式会社** お問い合わせ先：03-3815-2233
<http://www.tohzo-sangyo.co.jp>

私たちはITで畜産経営を応援します

畜産経営管理支援システムの開発・提供
 B2Bエンジン上で稼働する地図情報システムの開発・提供
 その他システム化に関するコンサルティング

 **株式会社大建情報システム**

T 03-0041 東京都台東区元湯島2丁目6番8号 東京日産ビル4階
 URL <http://www.daisan-system.co.jp>
 担当：ビジネス・ソリューショングループ 池田・大竹



協賛広告

オリジナル防疫・衛生対策資材

■泥落とし用ブラシマット「ゴシゴシ君」

- ・毛足の長い丈夫なナイロンブラシで長靴の泥など落としやすい
- ・コンパクトな150×300mm/組(つなぎ合せ可能)

■踏み込み消毒槽


- ・踏み込み易い消毒槽
- ・深さがあり、しっかり消毒

養鶏(採卵・ブロイラー)・養豚・養牛(酪農・肉牛)
「関連施設建設・器具器材販売」

～畜産生産者のニーズにお応えします。～


全農畜産サービス株式会社
マテリアル事業部

〒135-0041 東京都江東区冬木11番17号
Tel(03)5245-4871 Fax(03)5245-2424
ホームページ: <http://www.zcss.co.jp>





拡張可能なマルチボックスシステムが農場の将来設計に柔軟に対応。

マルチボックス 搾乳ロボット



The Multibox-System

➔

オリオン機械株式会社 www.orlonkikal.co.jp




ちくかんリースで、日本の畜産を元気に

**畜産農家の経営合理化、機械のリース
や堆肥分析で応援します！**

一般財団法人 畜産環境整備機構

〒105-001 東京都港区虎ノ門5-12-1
☎ 03-3459-6300 FAX 03-3459-6315



◆畜産環境整備機構は、系統・商系を問わず、畜産農家の皆さまに低い料率で機械・施設のリースを実施しています。また、畜産環境問題解決のための技術開発や堆肥分析などを実施しています。

協賛広告



那須高原ハーレー牧場の牛乳[®]

芳醇でコクがあるのに後味スッキリ!!
風味や旨味はストレスのない環境で決まる!
つまりは「牛の健康」、味の違いはここにある。




那須高原
ハーレー牧場
GIFT
那須の大地からの
贈り物

組合わせ自由ご予算に応じます。
好きな商品を選んで自分だけの特別なギフトに。

那須高原ハーレー牧場[®] 〒325-0115 栃木県那須塩原市百村489-3
TEL.0287-69-1180 FAX.0287-69-1234
URL. <http://www.nasu80farm.com/>

美味しいから幸せへ



(有) 那須高原今牧場 チーズ工房



〒325-0304 栃木県那須郡那須町大字高久甲 5899-7 TEL 0287-74-2580 FAX 0287-74-2585
E-mail cheese@ima-farm.com



ひふみ養蜂園株式会社

～創業 70 年 本物の蜂屋から本物を～

- ◎ハチミツ
- ◎蜂の駅 Cafe123
- ◎ローヤルゼリー
- ◎プロポリス




(ひふみのハチミツ)
TEL:0120-123-832
HP:123-832.com

協賛広告

農林水産省生産局
補助事業

収量多収には優良品種の選択が大切です。

PVP 登録番号：21213号

普通播き～遅播きで多収 早生品種 イタリアンライグラス

「きららワセ」

平成29年話題の中で新発売

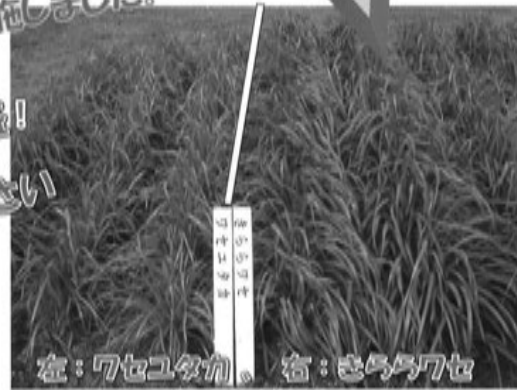
早生で初の
4倍体



現地生草は増産を約100万円で実施しました。

初期生育が盛ん!

この草を見てください



左：ワセコタカ 右：きららワセ

堂々たる草姿が飼料増産を約束する。

気になるギモンにお答えします!

この初期生育がスゴイ!!
こんなイタリアンが欲しかった!

Q1 収量は?

4倍体なので、葉幅が広く、葉が長く、莖径はやや大柄なので、多収です。(注：乾物収量は高く、乾物率はやや低いです)

Q2 多収でも倒れない?

莖は ガッチリタイプの草姿。耐倒伏性は、他の4倍体品種と比べて「強」、他の2倍体と比べて「やや強」です。

Q3 播き遅れても大丈夫?

初期生育が旺盛な上、低温伸長性に優れるので、播種期が遅れても多収です。また、葉幅が広く早く地面を覆うので、雑草の発生を抑えます。大きなメリットです。

Q4 病気は大丈夫?

早生品種で、いもち病抵抗性(「中」)を持ち、冠さび病抵抗性は「強」です。★早播きはいもち病抵抗性の「はやまき18」を。

試験場における試験成績は、裏面に記載しました。ぜひ、特性をご覧ください。

一般社団法人 日本草地畜産種子協会 03-3251-6501

協賛広告

情報：早播きは「いもち病抵抗性」品種を選びましょう。

PVP

種苗品種登録 出願中

・場所：熊本県合志市 ・播種日：平成 28 年 9 月 16 日 ・写真撮影：平成 28 年 11 月 4 日
 民間優良品種 いもち病抵抗性「はやまき 18」 民間優良品種 公的優良品種



・場所：鹿児島県肝付町 ・播種日：平成 28 年 9 月 14 日 ・写真撮影：平成 28 年 11 月 1 日
 民間優良品種 いもち病抵抗性「はやまき 18」 民間優良品種



いもち病に強く 早播きから普通播きで 収量も多い

早生品種
 いもち病抵抗性
 イタリアンライグラス

はやまき 18

現地実証栽培を各地で行いました。

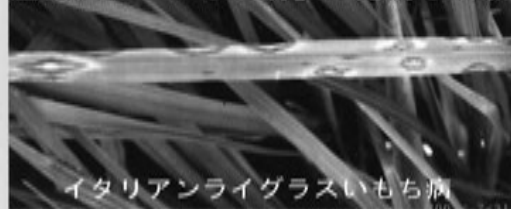
「乾物多収」「倒れに強い」

- ・東北南部～九州・沖縄まで栽培地域の適応性は広い。
- ・畑地の早播きは夏雑草対策も大切。

写真：4月28日 栃木県那須塩原市 普通播き栽培



温暖化で「いもち病」の発病も増加




イタリアンライグラスいもち病


いもち病の感染適温は 25℃前後で、平均気温 20℃になると発病が減少する。
 早播き年内収穫は品種の選択が重要です。
 注意：普通種(コモン)は いもち病に極弱です。

飼料増産を支援する 一般社団法人 日本草地畜産種子協会 電話 03-3251-6501

協賛広告



全国畜産農業協同組合連合会




本所 / 〒104-0033 東京都中央区新川2-6-16 馬事畜産会館
 TEL 03 (3297) 5531 FAX 03 (3297) 5536 <http://www.zenchikuren.or.jp>

支所 / 東北・東京・福岡 事業所 / 帯広・神戸・南九州

子会社 / 株式会社ぜんちく那須山麓牧場
 〒329-2747 栃木県那須塩原市千本松776-1
 TEL 0287 (36) 0042 FAX 0287 (36) 3962 <http://www.zenchiku-nasusanroku.co.jp>

畜産映像情報 がんばる！畜産！

**畜産トレンド発見！
なるほど！畜産現場
ドキュメント！畜産の新主役たち**



「がんばる！畜産！」は2つのメディアでご覧になれます。

(公社)中央畜産会ホームページ <http://ilia.lin.gr.jp/ganbaruchikusan/>

農林放送事業団
東京都港区赤坂1-9-13
TEL 03-3583-6901

BS234ch グリーンチャンネル 9月4日から毎週月曜～金曜午前7時～7時30分ほか

日本の養鶏現場をホームグラウンドに アジア、世界に発信できる養鶏設備・システムを目指します
たまご王国 日本のレイヤー農場に

ハイテムレイヤー機器・システム



稼働展示センター



強力な工場体制

- ルービオ(中国)
- ロクセル社(ルギー)
- ヒータ(タイ)社(ルギー)
- ペコマック社(オランダ)
- TP社(オランダ)
- SBM社(フランス)
- ペリコ社(イタリア)
- BB社(イタリア)
- CR社(イタリア)
- 電子有限公司(中国)
- アグロジック社(イスラエル)



トリの分かる機械・電気プロ技術集団
 岐阜県各務原市テクノプラザ2-10 TEL058-385-0505(代) FAX058-385-1230 〒509-0109 www.hytem.com
 東京オフィス TEL03-3292-6831(代) 北日本営業所(福岡) TEL019-624-3880 九州営業所(福岡) TEL0940-43-1302
 サードステック 北海道(山形) 茨城(群馬) 千葉(福島) 新潟(新潟) 山形(山形) 秋田(秋田) 岩手(岩手) 青森(青森) 山形(山形) 福島(福島) 茨城(茨城)

協賛広告



農業生産専門の従業員の募集・採用なら
12年の実績!

農業を目指す求職者会員数5万人
「畜産経験者・畜産系新卒・家畜人工授精師
が今日も仕事を探しているんです。」

第一次産業ネット 検索 

運営会社：株式会社ライフラボ
ご案内：03-5544-8666

◆株式会社LifeLab（ライフラボ）は、農業専門の人材事業一筋の企業です。

日本養鶏協会は、全国畜産縦断いきいきネットワークを
応援いたします。

一般社団法人日本養鶏協会
会長 齋藤 利明



編集後記



会員みなさん、いかがお過ごしですか。

8月の大会ではたくさんの会員様、関係者様をはじめ、多くの方々に参加いただきましたことに、感謝申し上げます。

今年は、去年にも増して大盛り上がりだったように感じます。この大会をきっかけに、家族で話し合う機会が増え、より良い経営となることを願っております。

また、来年の大会に生かせるよう、アンケートを取らせていただきました。

大会について「良かった」との声が97%、次回についても「参加したい」との声が94%という結果になり、とても嬉しいです！

感想の欄には、「元気をもらった」、「来年が楽しみ」とのご感想を多くいただきました。

来年もみなさんからいただいた意見をもとに、より有意義な大会を目指して、事務局一同精進して参ります。

台風や地震に加え、最近では北朝鮮のミサイル発射によって私たちの生活が脅かされています。不安の絶えない毎日ですが、みなさんの傍にはいつも仲間がいます。共に助け合いながら、困難を乗り越えていきましょうね。

全国畜産縦断いきいきネットワーク
事務局

編集・発行

全国畜産縦断いきいきネットワーク情報発信担当理事
全国畜産縦断いきいきネットワーク事務局 《(公社) 中央畜産会》



TEL03-6206-0833 (事務局直通) FAX03-5289-0890
e-mail joseinet@sec.lin.gr.jp
ホームページ <http://jlia.lin.gr.jp/joseinet/>

著作権は各執筆者に帰属します。無断転載を禁止します。

会員を随時募集中です！